



深山たかし

発行元：深山たかし後援会
 上尾市大字上1774-7
 048(776)0575
 fukayama-sov@jcom.home.ne.jp
 ホームページは検索サイト
 ”深山たかし”で閲覧できます。

議会りポト

（仮）上尾市中央図書館 （複合施設）建設について

**現図書館本館を
移転建て替えず
の必要性**

現図書館本館は、昭和五十六年六月に開館以来、三十四年間たくさんの方の皆様に親しまれご利用いただけてきました。しかし、人口の増加とともに蔵書数も増え、図書を置くスペースに苦慮している状況です。また、閲覧席や学習席等の不足、書架の間隔や高さなどで、高齢の方、身体に障がいのある方、乳幼児をお連れの方など誰もが利

用しやすい施設にはなっていない。

これらを踏まえ、「第四・五次上尾市総合計画」や「上尾市図書館サービス計画」においても、新図書館建設の検討を重ねてきました。

これまでの経緯

一、建設予定地の選定については、さまざまな候補地の中から総合的に最も適していると判断して上平公園西側の土地を建設地といたしました。

目指す図書館

一、読書をするだけの施設ではなく市民の生涯学習に対する要求に応える図書館

二、上平公園に隣接する立地環境と郊外である利点を生かし、居心地のよい開放的な空間と触れ合える外観、自然を感じる環境を作ることが出来る図書館

三、市民協働のイベントや活動に寄与する図書館

四、市民にとってのコミュニケーション作りや地域活性化の場となる図書館

五、調査研究、情報提供の拠点とし、シティーセーブルスを見据えた図書館

六、あらゆる世代の人と出会える図書館

七、上尾市の歴史・風土・文化に出会える図書館

二、平成二十六年度は、建設地の測量を実施したほか、市民の代表からご意見や要望を聞く懇話会を開催し、新図書館の基本構想（案）を策定した上、市民パブリックコメントを実施し、最終的に、教育委員会との協議を得て新図書館の基本構想をまとめました。

三、上尾市では、現在将来人口や財政状況を勘案し、公共施設の整備や維持管理について総合的に検討しており、本館を新しく建て替える新図書館においても、この公共施設マネジメントの考えから青少年センターと複合化することになりました。

青少年センターとは、新図書館が目指す市民が集い活動できる拠点として類似する施設が多いことなどから、相乗効果を発揮できると考えて検討しています。

☆☆施設の概要等☆☆

施設概要

施設等の名称		現本館	新図書館 (目標)	説明
1	敷地規模	2418㎡	約7000㎡	上平公園に近接する緑豊かな環境
2	施設規模	2649㎡	約4000～ 5000㎡程度	充実した機能とサービスを図るための規模
3	駐車場	57台	約100台	現本館の駐車場58台の内、敷地内に17台、41台は民間駐車場を借りている。
4	駐輪場	約100台	約200台	自転車での来館者に備えます。

主な機能

施設等の名称		説明	
1	ユニバーサル デザイン	全体	誘導点字ブロック、手すりの点字案内、多機能トイレ(オストム設置)など、誰もが利用しやすいバリアフリー設備を設ける。
		対面朗読室・録音室	読書にハンディーキャップのある方に対面朗読する部屋及び音声資料を作成する部屋を設ける。
		授乳室 子ども用トイレ	父母が子(乳幼児を含む)連れで利用しやすい施設とする。また、小さなお子様が利用しやすいトイレとする。
2	子どもの読書活動 支援センター	学校・地域・家庭との連携を図り、更なる子どもの読書を支援する活動を行う	
3	青少年スペース	小学生高学年から高校生が利用しやすいように、パソコン利用やグループ学習スペースを検討する。	
4	ギャラリー	エントランスに接し、絵画、写真などの企画展示や本の紹介する展示など様々な情報提供を行う。	
5	ボランティアルーム	図書館に関わるボランティア活動の拠点とし、打合せや作業を行う。	
6	郷土資料コーナー	「ここに来れば上尾のことを知ることができる」のコンセプトに基づき、図書資料だけでなく、古文書や上尾市の歴史や文化に関する写真や動画像のほか、観光資料などの集積を図り、閲覧・提供を行う。	
7	無線LAN環境	インターネット利用ができるスペースを検討する。	
8	飲食コーナー	長時間の滞在に備え、持ち込み飲食ができるほか、軽食販売やカフェの設置も検討する。 コーヒーを飲みながら読書が可能な居心地の良い場所を検討します。	

※ 以上の内容は、平成26年度策定した新図書館の基本構想に基づくもので、決定したものではありません。